

ガラス博物館展示

## 復興を祈る「希望の桜」



 Candy Garden

震災から6年

今年も桜の季節になりました

ビーズ作家 下永瀬 美奈子先生と

Candy Garden の 100 名を超える受講生のみなさんで

つくられた桜

1 粒 2mm の小さなガラスビーズに思いを込めて

1 枚 1 枚つくり上げられた花びらは

高さ 2m 幅 3m 総ビーズ 300 万粒の桜の木になりました

たくさんの思いをのせて咲き続ける桜を

ぜひご覧ください

TOHO BEADS STYLE  
ガラスの里

# 復興を祈る「希望の桜」

阪神淡路大震災は、我が家の全ての物を壊しました。  
そんな中、ビーズフラワーだけはもとの美しい姿をとり戻しました。

私がビーズフラワーのフォーミングにこだわるのは  
この経験があったからかも知れません。  
フォーミングは花に新しい命を吹き込み、それぞれに表情を出します。

震災後、ビーズフラワーを飾っていると自然と人が集うようになりました。  
「ここに来ると、ビーズフラワーが一杯で元気になるね」と  
皆がビーズフラワーに癒され、笑顔になりました。

ビーズフラワーには人を幸せにする力があります。  
永遠に輝く花は人に希望と勇気を与えます。

そしてビーズの桜は「希望の桜」と名づけられました。

「希望の桜」は各地で愛され、心の復興のシンボルとなりました。  
被災地では皆さんの笑顔に私達が励まされ勇気づけられました。

そして昨年「希望の桜」はビーズの生まれ故郷ガラスの里に戻りました。  
今後はガラスの里を訪れる皆様に愛され永遠に咲き続けます。

展示にご協力いただきましたトーホー株式会社様、  
ガラスの里の皆様、  
そして何より300万粒のビーズを作ってくくださった工場の皆様、  
有難うございました。

CandyGarden

主宰 下永瀬 美奈子